

2019年3月25日
真言宗総本山 教王護国寺(東寺)
東京国立博物館
凸版印刷株式会社

東京国立博物館と凸版印刷、空海の立体曼荼羅 VR を初公開

空海が構想した立体曼荼羅を紐解くVR作品『空海 祈りの形』を
特別展「国宝 東寺－空海と仏像曼荼羅」との連動企画として
「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」にて3月27日より上演

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館(所在地:東京都台東区、館長:銭谷眞美、以下 東京国立博物館)と凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、真言宗総本山 教王護国寺(東寺)(所在地:京都府京都市、東寺長者:砂原秀遍、以下 東寺)が所蔵する国宝16体、重要文化財5体の合計21体の仏像で構成される、弘法大師空海(以下 空海)が独自に構想した立体曼荼羅を再現するVR作品『空海 祈りの形』を製作。

2019年3月26日(火)から東京国立博物館で開催する特別展「国宝 東寺－空海と仏像曼荼羅」の連携企画として、同館東洋館内「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」で2019年3月27日(水)から上演します。

本VR作品は、空海が日本で完成させた真言密教の歴史と、東寺講堂に安置されている平安時代前期に作られた密教彫刻の最高傑作である立体曼荼羅を紹介するものです。21体の仏像について立体形状計測と高精細デジタル撮影によるデジタルアーカイブを実施。凸版印刷のVR技術で仏像すべてを高精細に再現することで、現地では見ることが困難な角度や位置から1体1体を拡大するなど、VRならではの視点で立体曼荼羅を鑑賞できる作品です。



VR作品『空海 祈りの形』

監修:東京国立博物館、真言宗総本山 教王護国寺(東寺)
制作:凸版印刷株式会社

■ 東寺講堂の立体曼荼羅について

空海は、言葉では伝えにくい密教の教えを視覚的に表す、21体の仏像で構成される立体曼荼羅を構想。密教の教えを広めるために建立した講堂に、最上位の仏とされる大日如来を中心として四方に4体の如来を配した五智如来(重要文化財)と、その右側に金剛波羅蜜菩薩を中心にした五大菩薩(国宝)、左側に不動明王を中心にした五大明王(国宝)、四方には四天王と梵天、帝釈天(いずれも国宝)が諸尊を守るように配しました。平安時代前期の密教彫刻の最高傑作とされています。

■ VR 作品『空海 祈りの形』について

・空海ゆかりの国宝・重要文化財を交えて入唐から講堂建立までの空海の軌跡を解説

重要文化財「紙本著色弘法大師行状絵詞(しほんちゃくしょく こうぼうだいし ぎょうじょうえことば)」(東寺所蔵)を用いて空海の入唐から講堂建立までの軌跡をたどります。また、絵詞に描かれている国宝「榎陀穀糸袈裟(けんだ こくし けさ)」をはじめ、空海が唐から持ち帰った国宝「金銅密教法具(こんどう みつきょう ほうぐ)」や「海賊蒔絵袈裟箱(かいぶ まきえ けさばこ)」などゆかりの文化財を紹介します。

・立体曼荼羅 21 体の仏像を VR ならではの手法で鑑賞

立体形状計測と高精細デジタル撮影で取得したアーカイブデータを元に、東寺講堂の立体曼荼羅 21体の仏像を VR 技術で再現。立体曼荼羅の中央に配置された高さ7メートルの「大日如来」を実物大でスクリーンに投影するなど、仏像 21 体の複雑な形状をさまざまな角度や位置から VR ならではの視点で鑑賞することができます。

・空海が独自に構想した立体曼荼羅を紐解く

本作品は、空海が配置した仏像の位置を正確に再現。現地の講堂内部にある柱を VR 上で取り除き、配置された仏像をめぐるながら、その位置関係から空海の構想した立体曼荼羅の意味を紐解きます。

■ 上演案内

場所	東京国立博物館東洋館地下1階 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター
期間	2019年3月27日(水)～6月30日(日)
上演日時	水・木・金 12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 土・日・祝・休日 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 *特別展期間中[3/26(火)～6/2(日)]の金・土は 17:00、18:00 追加上演 *所要時間約 35 分、各回定員 90 名
鑑賞料金	高校生以上:500 円 中学生・小学生:300 円 未就学児、障がい者とその介護者各 1 名無料 *特別展「国宝 東寺ー空海と仏像曼荼羅」チケット提示で 100 円引き *総合文化展当日券(一般 620 円/大学生 410 円)とセット購入で一般 1000 円/大学生 800 円 *開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。
シアターWeb サイト	http://www.toppan-vr.jp/mt/

■ SNS ハッシュタグ投稿でステッカープレゼント

上演終了後、高精細な撮影データを活用した本作品ならではの画像をスクリーンに投影し、記念撮影会を実施。撮影した写真や感想などにハッシュタグ「#トーハクでVR 東寺 2019」または「#VRToji2019」をつけて SNS に投稿した方には、ミュージアムシアター限定オリジナルステッカーをプレゼントします。

○交換日時:2019年3月27日(水)～6月30日(日)のシアター上演日 9:30～17:00 (夜間上演日は19:00まで)

※祝日を除く、月曜日・火曜日はシアター休演日

○対象 SNS:Twitter/Facebook/Instagram

○交換方法:投稿した画面をカウンタースタッフに提示



■ 特別展「国宝 東寺一空海と仏像曼荼羅」について

会期: 2019年3月26日(火)～6月2日(日)

開館時間: 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで) ※毎週金・土曜日は21:00まで

休館日: 月曜日、5月7日(火)

ただし、4月1日(月)[東寺展会場のみ開館]・29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館

場所: 東京国立博物館

主催: 東京国立博物館、真言宗総本山教王護国寺(東寺)、読売新聞社、NHK、NHK プロモーション

観覧料金: 一般 1,600円(1,400円)、大学生 1,200円(1,000円)、高校生 900円(700円)

*カッコ内は前売り

※展覧会の詳細は、東京国立博物館のホームページ <https://www.tnm.jp/> をご覧ください。

■ 「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」について

「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」は、VR による文化財の新しい鑑賞方法を体験できる施設です。「バーチャルリアリティで時空を超える」をコンセプトに、東京国立博物館の収蔵品を中心とする文化財デジタルアーカイブを VR 技術で可視化。専属のナビゲーターのライブ上演で、あたかもコンピュータが生成する三次元空間の中にいるかのような感覚で文化財を鑑賞できます。文化財の往時の姿の再現や肉眼では鑑賞することが難しい細かなディテールの拡大など、デジタルならではの文化財との新たな出会いと楽しみ方を提供する空間です。

・超高精細4K プロジェクタによる VR 映像投映

・スクリーンサイズ: 300 インチ(横幅 6.6m、高さ 3.7m)

・シアターHP: <http://www.toppan-vr.jp/mt/>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上